

新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

マイスター・ハイスクールビジョン

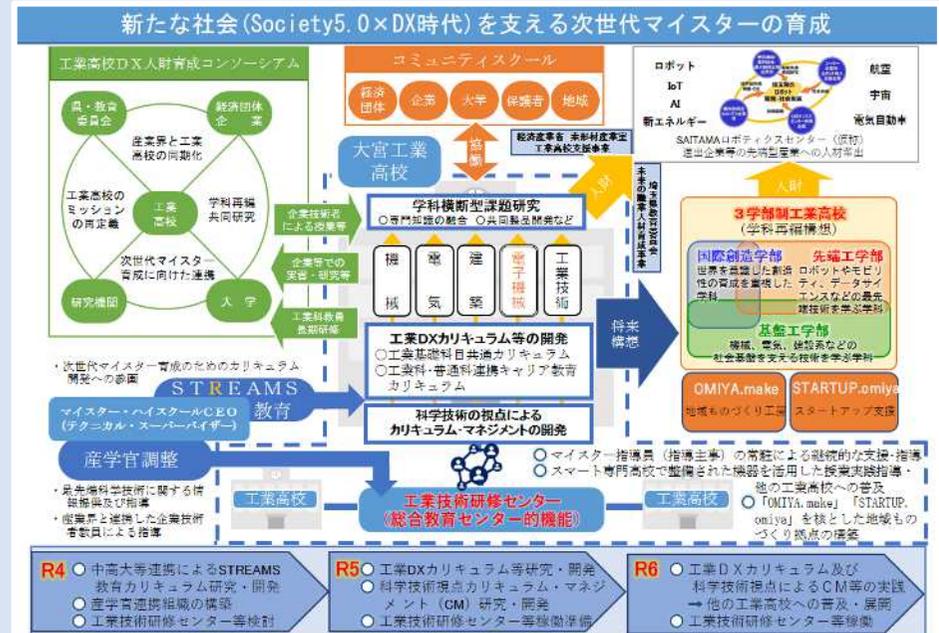
マイスター・ハイスクールCEOのトータルマネジメントのもと、実施校と産業界等（経済団体・企業・研究機関・大学）が連携・協働し、地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の専門職業人材（次世代マイスター）を育成するとともに、産業構造の変化に即応できる実践的な指導力を持つ教員を育成し、最新の産業教育施設・設備を最大限に活用した指導実践モデルを創出・普及する。

実施体制等

- 管理機関
 - ・ 埼玉県
 - ・ 一般社団法人埼玉県経営者協会
 - ・ 埼玉県教育委員会
- 意思決定機関
 - ・ マイスター・ハイスクール運営委員会
- 事業実行機関
 - ・ マイスター・ハイスクール事業推進委員会
- 指定校内機関
 - ・ マイスター・ハイスクール校内実行委員会

事業の目標

- ① 工業DXカリキュラム等の開発
- ② 科学技術の視点によるCMの開発
- ③ 学科横断型課題研究の実践
- ④ 育成したい(されたい)資質・能力の共有
- ⑤ 工業技術研修センターの構築
- ⑥ 拠点となる実施校の将来構想の策定



- R4 ○ 中高大等連携によるSTREAMS教育カリキュラム研究・開発
 ● 産学官連携組織の構築
 ● 工業技術研修センター等検討
- R5 ○ 工業DXカリキュラム等研究・開発
 ● 科学技術視点カリキュラム・マネジメント (CM) 研究・開発
 ● 工業技術研修センター等稼働準備
- R6 ○ 工業DXカリキュラム及び科学技術視点によるCM等の実践
 → 他工業高校への普及・展開
 ● 工業技術研修センター等稼働

新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

令和6年度は「事業の目標」の達成に向けて以下4点を重視し取り組んだ

- 産業実務家教員による授業のカリキュラムへの組込
- 産業界との連携強化
- 本事業の県内他校への普及
- 事業期間終了後の自走化への体制づくり

「事業の目標」を達成するために取り組んだ主な内容

○ 産業実務家教員による授業のカリキュラムへの組込

- 「施工管理シュミレーション」学校：カリキュラム化 企業：新入社員の研修メニュー化
- 「ドローンプログラム実習」のカリキュラム化
- 「3Dプリンターの解剖」特別授業の定着
- 「航空業界の仕事について」のカリキュラム検討
- 「RPA活用実習」のカリキュラム化
- 「折り紙チャレンジによる生産管理」のカリキュラム化

○ 外国語教育の充実・ものづくりをとおした国際交流事業（育成したい資質・能力）

- 台湾の高校生徒とものづくり交流会
- 埼玉県高等学校英語スピーチコンテスト出場
- 『建設業のグローバル化体験』の授業
- 芝浦工業大学とスラバヤ工科大学（ITS）との交流会

○ STREAMS教育プログラム及び工業技術研修センター機能

[STREAMS教育プログラム]

- 中高連携STREAMS教育連携授業
- 小学生対象「ロボットを動かしてみよう！」
- 小学生対象「ロボットを作ってみよう！」
- 小学生対象「ロボットを組み立ててみよう！」

[先端技術研修会等]

- 学SAITAMAプロジェクト研修会
- 3Dモデリング研修会（普通科高校,中学校教員対象）
- 埼玉県工業教育研究会 電子機械部会研修
- 高大産連携教員研修会（NTT e-city LABO）

新たな社会(Society5.0×DX時代)を支える次世代マイスターの育成

令和6年度の成果と課題

● 産業実務家教員との協働による授業により…

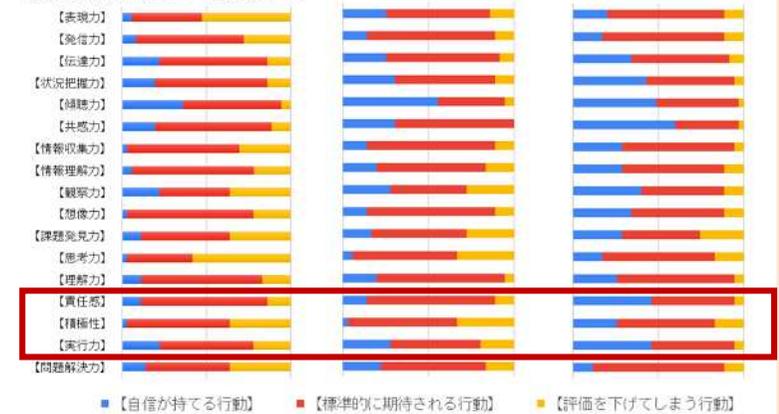
■ 授業を受ける生徒の変化（参考：コンピテンシー評価アンケート結果）

- ・ 学習成果を誰かに伝えたい(教えたい)気持ちが増（積極性・実行力）
失敗を恐れず「自分ならできる」「きつとうまくいく」と思う
生徒の自己効力感の向上に寄与
- ・ 知識と知識をつなぎ合わせながら、最適な答えを導くよう思考の変化

■ 先生方の変化

- ・ 「教師が教える授業」から「生徒が学ぶ授業」へのチャレンジ増加
- ・ 地域や企業などの外部リソースの活用増加
- ・ 産業実務家教員に替わり授業内容を継続するための授業研究

電子機械科 令和4年度入学生



● 「マイスター・ハイスクール事業」期間終了後の自走と普及に向けて…

■ 「大宮工業高校 人づくりコンソーシアム」+「大宮科学技術高等学校」

- ・ 事業終了後のマイスター・ハイスクール事業理念の継続のため、学校を支える強力な支援・協働体制となる
「大宮工業高校 人づくりコンソーシアム」を設立。また、コンソーシアムとコミュニティスクールを連携させ、学校と地域が連携・協働し、未来を担う子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現を目指す
- ・ 技術立国ニッポンの再興の一助となるよう、小中学生を対象とした「大宮工業高校 こどもアカデミー」の開設（ものづくり+科学探究+高大連携 企画）
- ・ 様々な言語に興味を持たせ国際感覚に優れた生徒を育成する。台湾の国立嘉義高級工業職業学校と連携し、それぞれの国の持つ風土や文化、経済などを理解したうえで、ものづくりをとおした国際交流事業を実現する
- ・ 女子生徒に理系への興味・関心を持ってもらうことを目的とした「理系女子 応援・育成プログラム（仮）」を高校・大学・企業連携による企画、立案、イベント実施を推進する